

沖縄でのMV-22オスプレイの不時着水事故について

平成28年12月13日、沖縄県名護市沖の海上において、米海兵隊のMV-22オスプレイが不時着水し、乗員が負傷する事故が発生しました。

オスプレイについては、機体の安全性等について国として十分に確認し、平成24年9月には、その運用に関する日米合同委員会合意がなされたものと承知しています。しかし、今回の事故は日本国内で発生した初めての重大事故であったことから、今後、国の責任において、オスプレイの安全性について、改めて丁寧かつ具体的な説明を行う必要があります。

基地周辺住民の不安を払拭するため、今回、新たに事故が発生したことについて、次のことを強く求めます。

- 1 当該事故の原因を早急に究明し、事故原因に応じた適切な再発防止策を講ずるよう米側に求めること。
- 2 安全が確認されるまでは県内基地周辺に飛来しないよう米側に求めること。
- 3 今回の事故原因や再発防止策等の情報については、遅滞なく公表すること。

平成28年12月14日

防衛大臣 稲田朋美 殿

神奈川県知事	黒岩祐治
横浜市市長	林文子
相模原市長	加山俊夫
横須賀市長	吉田雄人
藤沢市長	鈴木恒夫
茅ヶ崎市長	服部信明
逗子市長	平井竜一
大和市市長	大木哲
海老名市長	内野優
座間市長	遠藤三紀夫
綾瀬市長	古塩政由
町田市市長	石阪丈一